Life in Seattle

Vol.2

September, 2017

＜ケントレイク高校の一日＞

９月ももうすぐ終わりですね。残暑でバテていたりしませんか？こちらは新学期が始まり、だいぶ学校生活のリズムがつかめて来ました。下の表は、ケントレイク高校の時程表です。

0限	6:40～7:35（55 分）
1限	7:40～8:35（55 分）
2限	8:40～9:35（55 分）
3限	9:40～10:40（60 分）
4限	10:45～12:20（60 分）
5限	12:25～13:20（55 分）
6限	13:25～14:20（55 分）

※４限のうち 30 分は昼食。３交代制。

朝がとても早いと思いませんか。（0 限は Jazz Band のクラスだけ）第１号で少し触れましたが、アメリカは小・中・高ともスクールバスか自家用車の送迎で登下校している生徒がほとんどです。バスは高校生→中学生→小学生の順に送迎します。ですから、高校生の時間割がこんなに早く始まるというわけです。

→スクールバスで登校する様子。20 台ほどが次々に生徒を乗せて来る。

３限には、３分ほど連絡事項や今日の食堂メニューが放送で伝えられます。そして全員が起立をして右手を左胸に当て、教室の星条旗に向かって「忠誠の誓い」というものを行います。

業間は５分しかありませんが、先生の教室が決まっており、生徒が移動します。毎日同じ時間割なので、毎日の積み重ねが大切な語学の勉強にはよい環境です。先生はドアの前に立って生徒を毎時間出迎えます。日本語の生徒はお辞儀をして「おはようございます」や「こんにちは」と言って教室に入ることになっています。今から外国語の授業が始まるという気持ちが作れてとてもいいなと思います。

教室の中は、それぞれの先生が工夫を凝らした掲示物を貼っています。外国語の教室は、その国の国旗やあいさつ、写真などがあってとても賑やかです。（スペイン語・フランス語・日本語から１つ選択して最低２年間履修するのが決まり）また、グループワークが多いので、4～6人ぐらいのグループで席が作られています。学校には wifi が飛んでいて、PC をプロジェクターにつなげてパワーポイントで授業を進めながら、質問があったらすぐに調べて画像や動画を皆で見て勉強することができます。（好きな日本のお菓子を聞かれて、「じゃがりこ」と答えたら、何それ？となりましたがすぐに見せることができました。日本の学校には wifi はないと言ったら、「日本はテクノロジーの国なのに！」と言われました。本当にうらやましい！）

←日本語の教室の掲示物の一部。

アメリカは様々な人々から成っている国であり、ケントレイク高校も人間の多様性をとても大切にしています。しかし、制服や髪形の規則はなくても、マナーや他人への配慮に関しては決まりがあります。例えば、私服であっても安全管理の理由からサングラスは禁止で、おへそを出すなど露出の多いものもいけません。日本語の授業では日本の学校となるべく同じにしようと、帽子もとってもらっています。また、授業中はスマホを使わないように指示されており、学校の廊下は右側を歩くように書かれています。(Please Stay to the Right.)

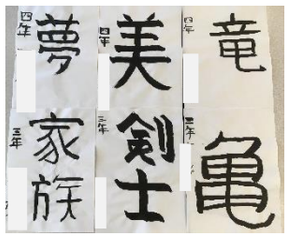
→ RESPECT OUR DIFFERENCES

← No student may leave class during the first 10 minutes or the last 10 minutes.

授業は「日本語１」「日本語２」「日本語３・４（AP）」を担当しています。（AP（= Advanced Placement）については後日紹介します。）１年生は「挨拶・ひらがな / カタカナ・数字・自己紹介・天気」という基本をしました。状況によって様々な意味になる便利な言葉「よろしくお願いします。」も、生徒にとっては発音も難しく、「結局これってどういう意味？」の質問に答えるのに苦労しました。生徒の何気ない疑問に気づかされる毎日です。２年生は去年１年間の総復習。カタカナは英語の発音に似ている単語も多いから覚えやすいのかと思っていたら、逆にそれがややこしいのだとか。でも、リスニングはとても上手で私の自己紹介もよく理解してくれました。また、先日３・４年生のクラスでは、漢字のアクティビティの一環で書道を行いました。初めて道具を手にする人がほとんどで、みんな興味津々。好きな言葉や漢字を調べて、作品を作りました。文化を通して言葉の楽しさを感じてもらえたらなと思います。

（文責：山根）

←自己紹介

→書道

（名前は伏せています）